

大丈夫かよ!
おまんくは?

地震が
起きてても

高知家



長男・耐震改修の大ちゃん

地震火災を
防ぐぜよ!

“地震火災”って何?



耐震3兄弟 © 村岡マサヒロ

三男・老朽住宅修繕部のシロ

次男・耐震改修部の大ちゃん

大きな地震が起きると、「①地震の揺れによる被害」「②津波による被害」に加え、「③地震火災による被害」が発生します。ガスコンロや石油ストーブ、電気器具など、ほとんどの製品では、揺れるとすぐに火が消えるように作られています。それでも大きな地震が発生すると、様々な原因により、火災が発生しています。

地震火災の特徴は、**あちこちで同時に火災が発生**したり、家屋やブロック塀の倒壊による**通行障害**により消防車が現場へ行けない、また、断水により**消火用水が不足**するなどにより、**木造住宅が密集している地区では大規模火災**となる可能性があります。

一人ひとりが行動し、
地震火災から命を守りましょう。



“地震火災”による被害

地震時に大規模火災が発生した事例としては、強風の影響で**火災旋風**が発生するなど、**火災により9万人の死者**が出た**1923年の関東大震災**や、木造住宅密集地域で発生した火災が、多くの家屋倒壊、通行障害、**消防用水の不足**により**大規模な火災**へとつながった**1995年の阪神・淡路大震災**などがあります。

“地震火災”への対策は？

次の3つの対策が大事です。

Point 1 出火防止対策

まずは**火を出さない「出火防止」**の対策が特に重要です。



住民の皆さんに行っていただきたい取組

- ◆住宅の耐震化
- ◆家具の転倒防止
- ◆感震ブレーカー等の設置
- ◆安全装置の備わった電気・ガス・石油器具類
- ◆可燃物の転倒・落下防止
- ◆身の安全を確保し、揺れがおさまったら、火の始末

※**住宅の耐震化や家具の転倒防止器具を設置**することにより、地震の揺れで倒壊した家や転倒した家具などによって、電気製品や配線がおしつぶされてショートし、出火するといった**電気が原因による火災の軽減にもつながります**。また、ブロック塀の安全対策や老朽住宅を除却することにより、消防車の到着や自らの避難がスムーズに行えます。



Point 2 延焼防止対策

地震発生時は、消防署や消防団がすぐに対応できないことが想定されます。このため、出火直後の火が小さい段階は**個人や地域で消火**にあたること、**住民自らが消火に取り組む**ことが必要です。しかし、火が大きくなった際には無理せず、ただちに避難してください。



住民の皆さんに行っていただきたい取組

- ◆住宅用火災警報器の設置
- ◆消火器、消防用水の確保
- ◆防災(消火)訓練への参加
- ◆老朽住宅の除却 ◆住宅の耐震化
- ◆個人や地域による初期消火活動

津波浸水が想定されている地区の方は、ただちに避難してください。

地震発生日	地震名(マグニチュード)	消失棟数
大正12年9月1日	関東地震(M7.9) [関東大震災]	477,128棟
昭和21年12月21日	昭和南海地震(M8.1)	2,598棟
平成7年1月17日	兵庫県南部地震(M7.3) [阪神・淡路大震災]	7,478棟
平成23年3月11日	東北地方太平洋沖地震(M9.0) [東日本大震災]	火災件数330件 (うち津波火災159件)

南海トラフ地震による県内の被害想定では、**最悪の場合、約12,000棟が焼失、約1,100人が火災によって死亡**するとされており、これは都市型地震であった阪神・淡路大震災での被害を上回っています。



◆ … 事前の対策 ◆ … 発災時の取組

Point 3 安全な避難対策

重点推進地区では安全に避難することが困難となる可能性がありますので、**早め早めに避難することが重要です**。そのためには、避難場所や避難経路の安全性の確認と、避難訓練を行っておくことが必要です。



住民の皆さんに行っていただきたい取組

- ◆ブロック塀の安全対策
- ◆住宅の耐震化
- ◆避難場所の確認、避難経路の安全性の確認
- ◆火災を想定した避難訓練の実施
- ◆出火状況の把握、避難情報の伝達、避難の判断
- ◆要配慮者等の把握、要配慮者の避難の準備、避難行動要支援者の避難



感震ブレーカーとは？

感震ブレーカーは、地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止めます。

【感震ブレーカーの種類】

分電盤タイプ (内蔵型)	分電盤タイプ (後付型)
<p>分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断。</p>	<p>分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能。</p>
コンセントタイプ	簡易タイプ
<p>コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断。</p>	<p>ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断。</p>

住宅の耐震改修 緊急支援 実施中!

対象住宅 昭和56年5月31日以前に建築された住宅(戸建て、長屋及び共同住宅など)
申込先 住宅のある市町村 申請者 対象住宅の所有者

耐震診断
自己負担 **3,000円**

耐震設計
補助率 2/3
最大 **20.5万円** 補助金

耐震改修
今なら **92.5万円** 補助金

ブロック塀等の安全対策
避難路に面した危険性の高いブロック塀等の撤去、または、安全な塀への改修にかかった費用
最大 **20.5万円** 補助金

老朽住宅等の除却
除却工事にかかった費用の一部
補助金
事業を実施している市町村によって異なりますので、各市町村窓口までお問合せください。

市町村によっては更なる上乗せ補助や、木造以外の住宅への補助を行っておりますので、詳しくは市町村へお問い合わせください。

地震火災対策を重点的に推進する地区(重点推進地区)

重点推進地区とは…

- 木造住宅が密集している市街地において、地震の発生時刻や風速などの状況により、延焼が拡大するエリアを避けて安全に避難することが困難となる可能性がある地区

市町村名	地区名	町丁目名
高知市	一宮東地区	一宮東町2～4丁目
	薊野西秦東地区	薊野西町1丁目、秦南町2丁目
	前里地区	前里
	加賀野井地区	加賀野井1・2丁目
	東久万地区	東久万の一部
	小高坂東地区	宝町、城北町、新屋敷1丁目、越前町2丁目
	小高坂西地区	新屋敷2丁目、西町、井口町、平和町
	旭北地区	長尾山町、旭天神町、山手町
	旭駅周辺地区	中須賀町、元町、水源町、(旭駅前町、旭上町、本宮町、旭町3丁目、下島町)の一部
室戸市	室戸地区	浮津の一部
安芸市	安芸地区	本町1～5丁目、日ノ出町、久世町、庄ノ芝町、寿町、清和町、千歳町、染井町の一部
南国市	後免地区	後免町2・3丁目、駅前町3丁目、西野田町1～4丁目、(後免町1丁目、駅前町2・4丁目、後免町、大桶甲)の一部
四万十市	中村地区	百笑町、大橋通1～7丁目、山手通、弥生町、四万十町、羽生小路、東下町、栄町、天神橋、小姓町、上小姓町、丸の内(ハイランドを含む)、桜町、愛宕町、本町1～5丁目、京町1～5丁目、一条通1～5丁目、東町1～3丁目、新町1～5丁目、於東町、岩崎町
香南市	赤岡地区	横町、元町、幸町、江見町、中町、北町、本町、寿町、栄町、日の出、弁天通、松ヶ瀬、港町、南町、弥生町、岸本の一部
香美市	山田地区	西本町1～5丁目、東本町1～5丁目、百石町1丁目、旭町5丁目
田野町	田野地区	浜田東、(芝、北町、立町、西町、新町東、新町中、新町西、浜田中、淌涛東、淌涛中、淌涛西)の一部
いの町	伊野地区	谷、羽根町、大国町、西町、西地、公園町、幸町、元町、旭町、本町、大和町、加茂、柳町、内野、菊楽、東町、新町、北山、駅前町、(天神町、駅東町)の一部
越知町	越知地区	越知甲の一部
四万十町	窪川地区	本町、茂串町、東町、琴平町、北琴平町

終わりに

重点推進地区だからといって、必ず地震火災が起きるわけではありませんし、重点推進地区でなくても地震火災が発生する可能性はあります。でも、地震火災は皆さんの備えや心がけで防ぐことができます。

地震が発生したら、まずは自分の身の安全を確保し、**出火を防ぐための取り組みを行ってください。***

出火しても、火が小さい段階では、個人や周辺住民の協力を得て、初期消火に取り組んでください。

それでも、火災が起こった場合は、周囲の状況や道路寸断などを把握し、避難場所、避難経路、避難のタイミングなど、**状況に応じて判断して行動してください。**

※津波浸水が想定されている地区の方は、ただちに避難してください。

◆今後、重点推進地区を対象に地震火災対策のための計画を住民の皆さんと市町が話し合いをしながらつくりま。

詳しく知りたい方は、お住まいの市役所・町役場の防災担当課、もしくは県庁消防政策課までお問い合わせください。

〒780-8570 高知県高知市丸ノ内1-2-20 高知県危機管理部消防政策課 TEL.088-823-9318